



環境活動レポート

(対象期間：第9期 2015年9月～2016年8月)

優者共栄

作成2016年11月24日

承認	作成
	

長野県 茅野市 豊平 443-2

株式会社 芳沢スクリーン

《 はじめに 》

エコアクション21の第9期の活動が終わりました。

- エコアクションの活動は、ツールとして定着しています。指示されて行動する人から、発想し考える人が増えて来ました。今後は個人スキルの格差を解消する活動にしていきたいと考えます。
- 当社の強みは、小回りがきく、提案型営業ができることです。新工法の提案によりコストダウンができ、三方両得になります。これからもこの強みが、お客様の信頼につながっていくと考えています。

株式会社芳沢スクリーン
代表取締役 芳沢 明

◆ 事業活動の概要と環境活動実施体制

事業所名・所在地 株式会社 芳沢スクリーン
長野県茅野市豊平 443-2

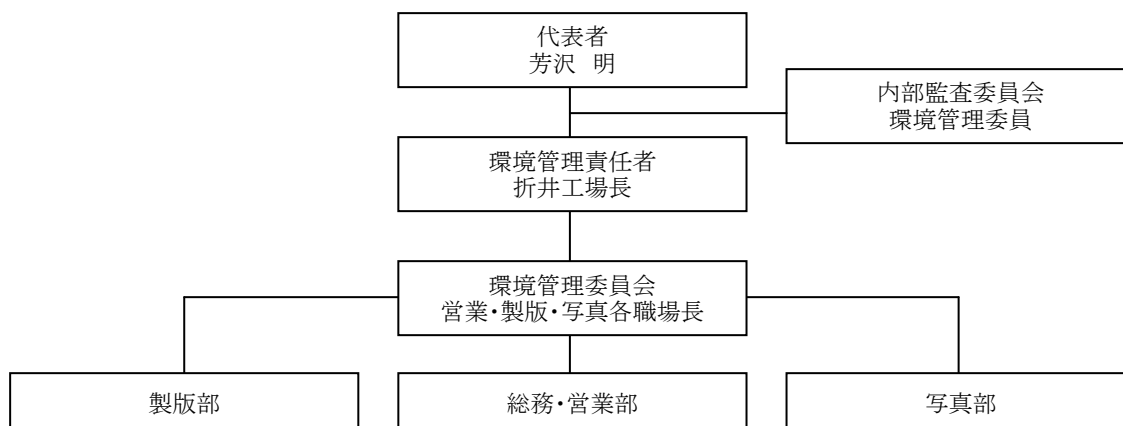
環境保全関係の責任者及び担当者・連絡先

経営者 : 代表取締役 芳沢 明
環境管理責任者&事務局 : 取締役工場長 折井 明
TEL : 0266-73-5568 FAX : 0266-72-0035
E-mail : whole@y-screen.co.jp

事業活動の内容 スクリーン製版、写真製版、各種インク販売
サインディスプレイ (看板、標識等の受注及び発注)

事業規模 総売上高 : 291 百万円 従業員 : 22 名
延床面積 : 709m² 敷地面積 : 1,160m²

環境活動実施体制(環境マネジメントシステム組織図)



環 境 方 針

【基本理念】

「産業と自然」との共生

環境問題に正面から取り組み
社会に環境配慮活動を提案し
社会貢献を実践する。

【環境方針】

1. 当社の事業活動により生じる環境への影響をしっかりと把握し、継続的改善及び環境汚染防止に努めます。
2. 環境に関しての法律、協定を遵守します。
3. 当社の事業活動によって生じる環境影響については、次の視点から適切な環境目的及び目標を設定し、活動していきます。

環境目的、目標は定期的に見直しを行います。

- ①技術提案、環境提案を拡大する
- ②省資源、省エネルギーに取り組む
- ③使用化学物質及び廃棄物を削減し、適正に処理する
- ④作業環境の安全衛生の向上に伴い、環境汚染防止に務める

4. グリーン購入・グリーン調達を積極的に進めると共に、購入先への要望・要請も合わせて取り組む。
5. 環境に配慮した製品を生産または販売をします。
6. 地域周辺への環境保全に配慮し、地域から信頼される事業活動を行います。
7. 環境方針は、全社員に周知徹底し、社外へ公開します。

2013年9月1日

株式会社 芳沢スクリーン

代表取締役 芳沢 明

◆ 負荷の自己チェック状況

環境への負荷		単位	第7期 (2013年9月～ 2014年8月)	第8期 (2014年9月～ 2015年8月)	第9期 (2015年9月～ 2016年8月)	
①温室効果ガス(二酸化炭素)排出量		kg-CO ₂	68,970	67,027	62,693	
②廃棄物 排出量	一般廃棄物	再生利用	kg	1,711	2,280	1,905
		焼却	kg	3,375	3,548	3,016
		埋立	kg	327	302	240
	産業廃棄物	廃酸・廃アルカリ	kg	2,253	3,890	2,200
③-1 総排水量(下水道)		m ³	363	440	375	
③-2 水使用量(上水)		m ³	363	440	375	
④化学物質 使用量	ノルマルヘキサン 10%	kg	32	29	27	
	ハイドロキノン 3%	kg	9	16	16	
⑤エネルギー 使用量	購入電力	MJ	1,010,042	962,888	912,234	
	化石燃料	MJ	323,421	328,980	300,084	
⑥資源使用量		kg	9,459	11,427	9,595	
⑦サイト内で循環的利用を行っている物質			(なし)			
⑧製品生産量(製版・写真 売上高) 前年比		円	12.07%増	0.89%増	8.41%減	

※ 購入電力の排出係数は2008年度の中部電力株式会社・実排出係数 0.455 kg-CO₂/kWh の値で計算しました。


◆ 環境目標と活動計画における取組内容、及びその結果と次年度の取組内容

■ 紙使用量削減		判定 : △
紙使用量削減 (現状維持) 0.92 k g /百万円 実績 0.93 k g /百万円 写真部 (中期 3%削減) 4.48 k g /百万円 実績 4.48 k g /百万円		<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷 ・裏紙使用 ・社内文書データ化 ・写真部 PDF チェック方法のペーパーレス、客先とのペーパーレス化の統一 ・写真部指摘不良件数の低減 <p>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</p> <p>全社使用量は前期と同じ実績で現状維持をしています。写真部使用量については2名の新人教育により教育期間は使用量増えましたが、裏紙の有効利用により目標が達成できました。次期目標は全社現状維持、写真部は取組みを継続し中期目標通り1%の削減を目指します。</p>

■ 二酸化炭素排出量・電力における削減		判定：△
<p>二酸化炭素排出量・電力における削減 (中期目標 3%、8期基準に 1%削減) 目標 509.2kwh/百万円 (製版、写真売上) 実績 522.62kwh/百万円</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC 電源管理(各自の使用状況に合わせ設定) ・空調最適温度管理 ・常時稼働エアコン温度変化の監視(HOBO、オムロン) ・写真部明室、製版部コーティング室エアコンの夜間、休日停止による品質管理 ・不良の低減、作業効率 UP <p>【評価(取組結果と次年度の取組内容)</p> <p>売上げ落ち込みにより年間目標未達成となりました。今期 10 月より倉庫ハガシ工程の電力も加わっていることと、品質向上のため一部客先の品質基準を上げて不良率が上がってしまったことで効率が下がってしまったことも要因となっています。次期目標は品質改善に取組み、中期目標通り 10 期目標は 1%削減とし問題があるようでしたら見直しをします。</p>	
■ 二酸化炭素排出量・自動車燃料における削減		判定：◎
<p>二酸化炭素排出量・自動車燃料における削減 (製版、写真、一部商品売上) (中期目標 2%削減) 41.92L/百万円(月) 実績 35.35L/百万円(月)</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な営業活動と配送 ・燃費の良い車の有効利用 ・アイドリングストップ ・急加速急発進の防止 <p>【評価(取組結果と次年度の取組内容)</p> <p>ワゴン車を燃費の良いものへ買い替えをしました。効率的な営業活動により燃費の良いワゴン車の有効利用ができ目標達成しました。取組みを継続します。</p>	
■ 廃棄物分別・削減		判定：◎
<p>(現状維持) 23.3kg/百万円 (製版売上) 実績 22.57kg/百万円</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物計量の徹底 ・リサイクル品の徹底 ・グリーン購入、調達の検証(仕入れメーカーへの納入形態の簡素化、納入資材のリサイクル使用の要望、要請) <p>【評価(取組結果と次年度の取組内容)</p> <p>新入社員入社時には廃棄物計量、リサイクル品分別の教育をし徹底でき目標達成できました。 継続して取組み現状を維持していきます。</p>	

■ 水使用量の削減		判定：◎
<p>(中期目標 1.5%削減) 目標 2.31 m³/百万円 (製版、写真売上) 実績 2.1 m³/百万円</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製版部不良率の低減 ・製版部前処理洗浄の見直し ・前処理作業の統一 ・写真部フィルム不良率低減 ・設備水漏れ点検実施 ・節水 <p>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 目標は達成できていますが、製版コーティング工程の不良率UPにより使用量が増えています。品質改善を第1に取組み不良率を低減させ削減につなげていきます。</p>	
■ 製版部不良率削減(張り加工)		判定：◎
<p>0.1%以下 実績 0.002% (月平均) (現状維持)</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枠の良悪し選別 ・張り機スクリーンコーナー部緩め徹底 ・ボンド塗布時浮き押さえ ・版、取扱注意 ・スクリーン種類別強度の教育 ・新人教育により過去の同類不良発生の撲滅 <p>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 新人教育の際過去の不良が再発しないよう内容を明確にして研修生に分かるよう説明しきちんと理解させることで不良多発はなく目標達成しました。 急ぎの製品のボンド乾き不足による不良は全てテープ加工を後にすることで改善で来ています。取組みを継続して現状を維持します。</p>	
■ 製版部不良率削減(コーティング)		判定：△
<p>0.5%以下 実績 0.81% (月平均) (次期見直し 1.0%以下)</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーティング室へのゴミ、ホコリの持ち込み防止 ・コーティング前ゴミ、ホコリのハンドクリーナーによる確実な掃除 ・バケツ先端乳剤の確実な拭き取り ・定期交換品の管理、交換 <p>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 期の後半厚膜製版のコーティングでマスクに気泡が発生し客先クレームが発生してしまいました。1回目コーティングの膜厚を下げることで気泡を最小限に抑え更に塗り重ねをして膜厚を形成することで対策しました。更にゴミ、ホコリの基準も上げてチェックすることで不良率が上がった要因になりました。品質向上を第1として取組みを継続します。</p>	

■ 製版部不良率削減(焼き付け) 判定：◎	
0.1%以下 実績 0.09% (月平均) (現状維持) 	【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・込まない運動実施 ・PS版ゴミの確実な確認 ・注文書、フィルム膜面、版種の確認 ・決めたことを守って確実な作業をする 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 <p>注文書の見間違い、思い込みによる不良が発生し対策として手順通り作業者に確認させて注文書に記入をさせてから作業するよう改善しました。フィルム貼りつけ時定規の角をあてて破損してしまい対策として定規を金属のものからプラスチックに変え角を丸く取って対策しました。</p>
■ 写真部指摘不良低減(データ編集) 判定：△	
4 件/月 実績 5.58 件 (月平均) (現状維持) 	【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・込まない運動実施 ・チェックリストに準じた作業方法の遵守 ・指摘事項、不良発生時の対策会議実施 ・決めたことを守って確実な作業をする 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 <p>不良合計数は67点(5.58件/月)で目標未達成となってしまいました。都度不良発生時の会議は実施できました。1人の作業員で42点の不良が出てしまい、客先にて再教育を実施します。</p>
■ 写真部フィルム不良率削減 判定：◎	
1.5%/月以下 実績 0.25%/ (月平均) (現状維持) 	【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・作画不良、フィルムカットサイズ不良、修正不良の低減 ・新入社員入社時事前教育により取扱い不良の低減 ・現像機暗室温度調節による結露対策により不良防止 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 <p>新入社員の事前教育により、フィルム不良を最低限に抑えることが出来ました。(0.25%/月) 温度調節により結露対策ができ、不良が減りました。</p>
■ 化学物質の削減 判定：◎	
作業環境の安全性向上 (現状維持) 	【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・張り作業環境の監視 ・接着剤混合時防臭マスク着用 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 <ul style="list-style-type: none"> ・作業環境測定機関(コーエキ)による環境測定実施。(6ヶ月毎) 第1管理区分、問題なし ・接着剤混合時防臭マスクの着用
■ 事務用品のグリーン購入 判定：◎	
事務用品購入時の環境配慮 	【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・事務用品購入時グリーン購入対象商品確認後購入 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ネット購入時確認後購入 ・仕入れメーカーへの納入形態の簡素化、納入資材のリサイクル使用の要望、要請の拡大

■ 製品、サービスに関する環境への取り組み	判定：◎
	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製版部張り作業環境の監視 ・営業活動、配送ルート効率化により燃費の良い車の有効利用 ・社用車エコカー導入 <p>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 ワゴンを更新し環境に配慮したものを導入した。 納品、営業活動に合わせて計画的にワゴンとトラックをうまく使い分け燃費の良いワゴンの有効利用ができました。</p>

◆ 環境教育の実施／緊急事態の特定、準備、訓練

当社では環境活動の周知徹底を図るため、環境方針や取組状況を環境掲示板へ掲示するとともに、毎月全体朝礼を実施し、取組結果の報告をして各部署の取組による成果を確認しています。また外国人作業用に、母国語環境方針の翻訳版を掲示し、読み合わせを行い、職場リーダーにより更に理解できるようフォローアップに努めています。その他、第9期に実施した環境教育は下記のとおりです。

教育訓練名称	対象者 実施日	講師・主催	内容
全社員教育 (全体朝礼)	全社員 (毎月)	環境管理責任者	環境方針の周知徹底 取組結果の報告 各部署の取り組みによる成果確認
新入社員教育 外国人労働者教育	製版部、写真部 (新入社員受入時 2/22、2/24、4/1、 5/25)	環境管理責任者	環境方針の周知徹底、読み合わせ 環境マニュアルの読み合わせ 各部署における取り組みについての説明
有機溶剤の取り扱いについて	製版部 (研修生受入時 2/24、5/25)	有機溶剤作業主任者	有機溶剤使用時の注意点 (接着剤、シンナーの取扱いについて)
避難訓練	全社員 (2016/9/6)	環境管理責任者 地域消防経験者	緊急事態対応の訓練 (地震発生を想定し避難訓練) 
漏洩訓練	写真部 (2016/9/6)	環境管理責任者	緊急事態対応の訓練 (漏洩) 

当社では緊急事態対応として、火災、地震、停電、大雨、台風、漏洩の6項目を特定しています。

全従業員に対し、火災発生を想定し、緊急事態対応手順書に基づき、避難訓練、消火器訓練を行いました。

外国人作業員へは、(製版職場)小林Lにより、更に理解できるようにフォローUPしました。

大きな地震の場合に備えて、日頃から家族の安否確認方法や帰宅方法も考えておくようにしました。

漏洩訓練では当該部署の社員に対して、緊急事態漏洩訓練の手順書に基づき、実際の緊急事態を想定して外国人作業員に指導しながら、用具の使用法等理解できるよう説明し訓練できました。ボンド、うすめ液の危険性を説明し保護具着用の必要性を説明して理解を深めました。

◆ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用となる環境関連法規は下記の通りです。2015年12月15日、遵守の確認を行い、特に問題はありませんでした。また関係当局よりの違反の指摘は、過去5年間ありません。

適用法	法規制対象	遵守状況
廃掃法	廃棄物管理	○
消防法 諏訪広域火災予防条例	危険物第4類第一石油類 シンナー、ボンド	○
茅野市公害防止条例 (騒音・振動規制)	空気圧縮機	○
下水道法	下水道	○
水質汚濁防止法	チオ硫酸アンモニウム	○
毒物劇物取締法	メタノール	○
フロン排出抑制法	特定フロン類	○
労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則)	ボンド、うすめ液	○

◆ 内部監査の結果

	良かった点	改善すべき点
経営者 環境管理責任者 事務局 推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・製版部人員入れ替え時教育でポイントを的確に教え未然に不良多発を防止できた。 ・写真部暗室室温調節により現像機の結露対策ができ不良が減りました。 ・ワゴン車を更新し環境に配慮したものを導入し燃費も良く、納品、営業活動に合わせて燃費の良いワゴン車の有効利用ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製版部の一部客先の品質改善によりコーティング不良による落としが増え、年間を通しての不良率目標未達成となってしまった。 ・品質向上を第一に取組みを継続します。次期では目標値の見直しをします。
製版部門	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入先乳剤メーカーに5kgx4本の梱包を5kgx2本の梱包に変えてもらうよう変更の依頼をし、今まで荷物が重すぎて破損することがあったが改善された。 ・コーティング作業を複数人でできるよう教育し、他作業と並行して交代して効率良く作業ができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーティング工程で一部客先の品質基準が上がり不良率が上がってしまった。 ・品質向上を第一に決めたことを守って取組みを継続します。
写真部門	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内のみえる化ボード設置により個々の作業の進捗が分かり計画的に作業ができるようになった ・写真室暗室の温度調節により現像機の結露が改善でき不良が減った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量増に伴い指摘不良が増えてしまった。 ・発生時毎に対策会議を実施し決めたことを守って作業する。 ・情報の横展開をし、コミュニケーションを取り不良撲滅の取組みを継続する。

◆ 現場の大きな改善

ハガシ工程の電気使用量が計測できるようメーターを設置した。



◆ 代表者による全体の評価と見直し

2016年9月20日、代表者による全体の見直しを行い、次の結果が得られました。

【環境方針】

今期変更の必要はありません。

【目標・活動計画の状況】

自動車燃料の削減: 効率の良い営業活動、エコカーの導入により目標達成。

廃棄物の削減: 仕入れ業者への梱包資材の再利用の依頼、廃棄物の計量・分別活動実施継続。目標達成しました。

製版部不良率削減: 新入社員の習熟期間、過去の多発不良発生防止の教育により目標達成。一部客先の品質基準が上がり不良率が上がってしまい目標未達成。不良発生原因をきちんと追求し確実な作業をする。取組みは継続し目標の見直しをします。

写真部指摘不良低減: 不具合発生時の対策会議、決めたことを守って作業、込まない運動等、取組みを継続してきましたが一部作業員で不良が多発してしまい目標未達成でした。

【総括】

- ①取組みについては指示後決められたことを守って即時実行し結果を報告すること。
- ②環境会議の内容を推進委員から他従業員への周知をし、会社全体へ展開し取り組むこと。
- ③雰囲気や言葉だけでなく事実を知ってもっと良いことがあるという考えを持つことが大事。